

務川慧悟さん応援レポート

会田莉凡 & 務川慧悟

デュオ・リサイタル

2017年11月26日(日)
スタジオ・ハル

教会風サロンでの室内楽リサイタル

11月26日(日)に開催された「会田莉凡 & 務川慧悟 デュオ・リサイタル」。
務川慧悟さんの演奏を聴いてきた。

会場は名古屋のスタジオ・ハル。
伺ってみると、そこは閑静な住宅街に構
える一軒家のご自宅。玄関口のお洒落な
雰囲気、気持ちや和む。

当日は務川さんと、ヴァイオリニスト会田
莉凡さんによる、室内楽のデュオ・リサイ
タル。これまでも何度もデュオを組んだ
ことがあるという二人、気どころ知れた間
柄による共演だった。

会田莉凡さんは財団の奨学生のみなさん
との共演も数多く、お名前は何度となく
お見掛けしている方。務川さんとは、同じ
回の日本音楽コンクール(第80回・2012
年)での1位同士(弦楽部門&ピアノ部
門)、日本音楽コンクール入賞記念の全
国凱旋ツアーでも行動を共にしたという
仲だそうだ。

その後秋吉台音楽コンクールの室内楽部門(2014年)に
デュオを組んで出場し、見事1位を受賞したという二人。
その頃は本当にたくさんの共演機会があったのだけれど、
務川さんがパリに留学したこともあり、当日は久しぶりの
共演とのことだった。

～日本音楽コンクールの覇者たち～
会田莉凡 & 務川慧悟 デュオ・リサイタル
2017.11.26 (日)
開演 14:30 / 開演 15:00
スタジオ・ハル
全席自由 4000円

～ プログラム ～
○ベートーヴェン: ヴァイオリン・ソナタ 第3番
変奏曲 Op.12-3
○ドビュッシー: ヴァイオリン・ソナタ 第2番
○ラヴェル: 組曲「舞」より「蝶」
○ラヴェル: 組曲「舞」より「花ばらばらの夜」
○ブラームス: ヴァイオリン・ソナタ 第2番
イ長調 Op.100

Vn.
会田莉凡
Ribon AIDA

Pf.
務川慧悟
Keigo MUKAWA

略歴
桐朋学園大学在学中の2012年、第81回日本音楽コンクールにて第1位、併せて最優秀、ソリスト賞、最優秀、楽友賞を受賞。その他、2010年第6回ヨーロッパ国際コンクール、2014年第3回秋吉台音楽コンクール室内楽部門にてそれぞれ第1位を受賞する。これまでに東京フィルハーモニー交響楽団、東京シティアカデミー交響楽団、ホルン・アンサンブル・オケストラなど国内外のオーケストラと共演を繰り返す。
また、東京・愛・音楽院、那珂いしき音楽塾・ハウスでのリサイタルのほか、数々の音楽祭に参加。サイトウ・キネン・オーケストラ、東京交響楽団などにも参加・演奏する。
2010年より小樽国際室内楽アカデミー奨学生に毎年参加し、2014年に「ケルマット奨励賞」を受賞。2015年ザルツブルク・フェスティバル国際室内楽コンクールで第1位を受賞する。
現在、第二専攻に専攻中。

1999年生まれ。東京藝術大学1年在学中の2012年、第81回日本音楽コンクール第1位受賞。2015年ニピル国際ピアノコンクール第2位。2016年イル・ド・フランス国際ピアノコンクール第2位。コブ・ミュージック・アワード国際コンクール第1位。2017年シヤル・ド・ピエリ国際ピアノコンクールのアーティストに選出され「ラヴェルピアノ」作品全曲演奏。をインターネットにも録音のライヴを公開中。これまでに、東京シティアカデミー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、フランスにてローズ国立管弦楽団、等と共演。2014年より国立高等音楽院に専攻員候補1位の資格で合格し、現在、専攻員に在籍。フランス・ブレイ、上海響楽、泰山の華の各氏に師事。2015・16年度ロームミュージックファンデーション、2017年度江原北志村財団奨学生。

問い合わせ: スタジオ・ハル 名古屋市千種区香岡 1-25-1
Tel. 052-752-2650
Mail: hhntmatsuka@yahoo.co.jp
hanyou1388@yahoo.co.jp



気心知れた仲間との久しぶりの共演

中に入ると、そこは小さな教会風の素敵なサロン。天井が大変に高い。一軒家のご家庭内に、このような空間があろうとは。音響を考慮されてか床はタイル張り。窓にはめ込まれたステンドグラスに目が惹かれる。

ここ名古屋は務川さんの地元でもある。なごやかな雰囲気のもと、開演を待つ皆々様。

当日のプログラムは全5曲。

会田さんのヴァイオリン&務川さんのピアノでのデュオに加えて、務川さんのソロタイムも予定されている。



1曲目。二人のデュオで、ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ 第3番。厚みある美しい音色にぐっと惹き込まれる。

2曲目は、ドビュッシー最後の作品であるヴァイオリン・ソナタ。「晩年らしい大人の世界が描かれています」との説明が加えられた曲は、ピアノの音色も印象的。繊細にこころと流れるように追いかけて合う旋律が印象的。



続いて、務川さんのソロタイム。「務川さんといえば」ともいえるラヴェルのピアノ曲を2曲。組曲『鏡』より 第一曲 “蛾”、第四曲 “道化師の朝の歌”が披露され、彩り豊かな圧巻の演奏が披露された。

ラストの曲はブラームスのヴァイオリン・ソナタ 第2番。「愛にあふれた曲です」との言葉通り、ヴァイオリンとピアノ、語り合うように美しい旋律を聴かせてくれた。

アンコールには、ラヴェルのヴァイオリン・ソナタから第3楽章。大満足のプログラムであった。



音楽にご造詣深きサロン・オーナー。
壁には海外でのオペラ公演のフライヤーの数々

ふたたびの共演を心に秘めて



途中のトークタイムでは、「・・・務川君はフランスの香りがしますが、私は国内産で。・・・務川君は本当に頭脳明晰で、私はおおざっぱで」と、言葉数の少ないクールな務川さんを持ち上げながら、客席のみなさまの心をほぐす会田さん。「・・・対照的なタイプでデュオを組んでしまったのですが、だからこそ上手くいっているのかなと思っています」。

終演の際には、「・・・また二人で演奏できるよう頑張りたいです」とも。切磋琢磨する素敵な仲間、これからもお二人でたくさん弾いていくのだろうかと、なんだかじ～んとしてしまっただ。

留学先のパリとの間を行ったり来たりする務川さん。2017年はシャネル・ピグマリオンデイズ・アーティストにも選出され、多忙な日々を送っている。

シャネルでいただいた6回の演奏機会を活かし、敬愛する作曲家ラヴェルのピアノソロ曲を全て演奏するという、魅力的な企画に挑んでおり、実はこのリサイタルの前日も、東京・銀座でのシャネルのリサイタルであった。前日のシャネルでは、ラヴェルの「鏡」を全曲(第1曲～第5曲)演奏。会田さんも聴きに駆けつけたそうで、「いやもう、本当に素晴らしかったです！」との感想を語ってくれた。

<演奏会概要>

◆出演

会田莉凡 ヴァイオリン
務川慧悟 ピアノ

◆プログラム

ベートーヴェン: ヴァイオリン・ソナタ 第3番 変ホ長調
Op12-3

ドビュッシー: ヴァイオリン・ソナタ ト長調

ラヴェル: 組曲『鏡』 第一曲 ”蛾”

ラヴェル: 組曲『鏡』 第四曲 ”道化師の朝の歌”

ブラームス: ヴァイオリン・ソナタ 第2番 イ長調 Op100

◆アンコール

ラヴェル: ヴァイオリン・ソナタから第3楽章

務川さん、素敵な演奏でした。
また聴かせてください！

